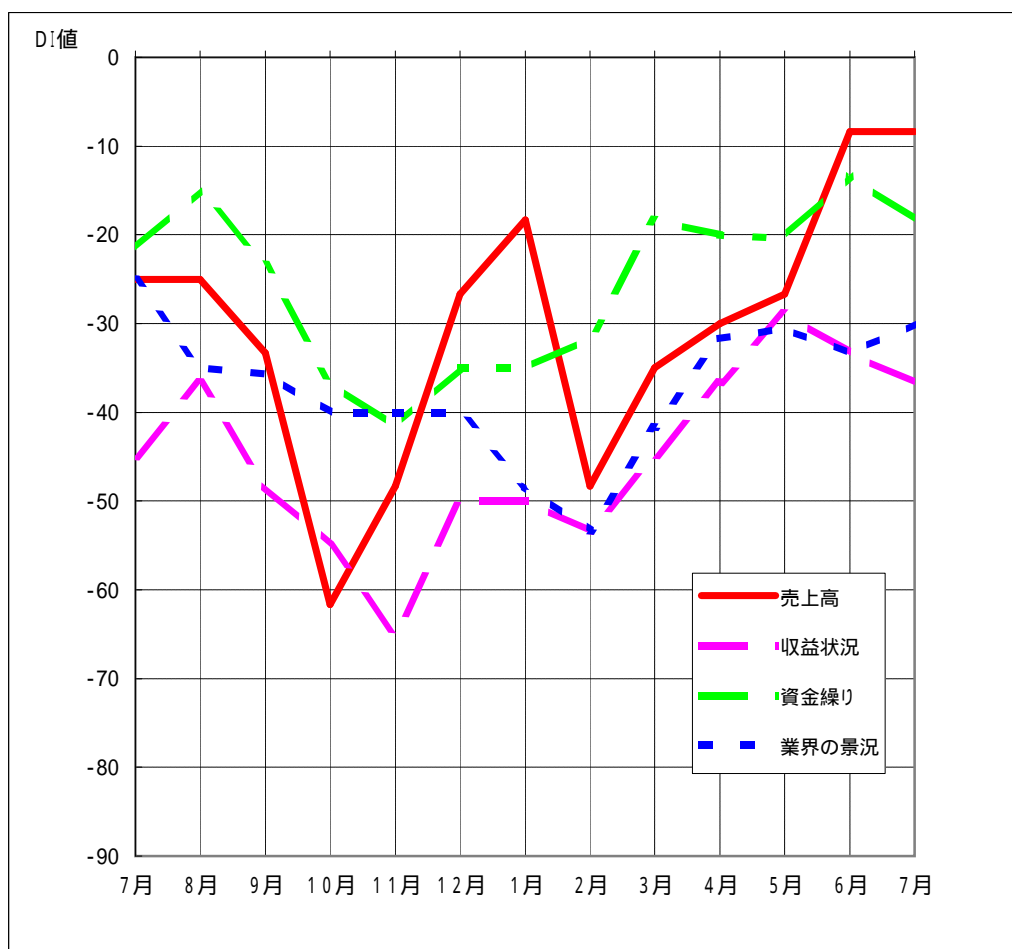


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成16年7月～平成17年7月

単位:ポイント



	h16						h17						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	-25.0	-25.0	-33.3	-61.7	-48.3	-26.7	-18.3	-48.3	-35.0	-30.0	-26.7	-8.3	-8.3
収益状況	-45.0	-36.7	-48.3	-55.0	-65.0	-50.0	-50.0	-53.3	-45.0	-36.7	-28.8	-33.3	-36.7
資金繰り	-21.7	-15.0	-23.3	-36.7	-41.7	-35.0	-35.0	-31.7	-18.3	-20.0	-20.3	-13.3	-18.3
業界の景況	-25.0	-35.0	-35.6	-40.0	-40.0	-40.0	-48.3	-53.3	-41.7	-31.7	-30.5	-33.3	-30.0

7月のDI値をみると、前年同月より「景況」DI以外の上記3項目で好転した。「売上高」DIは前年同月より16.7ポイント改善し、マイナス一桁台に推移した。「収益状況」DIにおいては、8.3ポイント改善し、マイナス30%台に推移。「資金繰り」DIは、3.4ポイント改善し、マイナス10%台に推移。「景況」DIは前年同月より5.0ポイント悪化し、マイナス30%台に推移した。ここ3ヶ月の傾向値をみると、「売上」DIは僅かに回復基調にあるが、それ以外では一進一退で推移しており、業種により格差はあるものの総じて中小企業の景況は「踊り場」を脱却できず、厳しい状況が続いていることが伺われる。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、受注増とする報告が多いが、価格競争、原材料高値推移、並びに原油高騰による今後の影響等、懸念材料が多く、景気の「踊り場」を抜け出せない状況。全体的に非製造業において、価格競争、原材料高値推移に加え需要低迷が続いているとの報告が多い。だが、「卸売業」の一部で、災害復旧需要等で出荷量が上回っているとの報告もあり。総体的に中小企業は、製造業の「売上」について僅かに回復基調にあるが、価格競争、原材料の高騰等により総体的に楽観などできない厳しい状況であることが伺われる。